

三小地域学校協働本部通信 vol.05

NEWS LETTER



㊦ 6年生のみなさん、卒業おめでとう！



学習支援員の授業補助

地域学校協働本部、3年目の活動終了

令和元年にスタートした三小の地域学校協働本部、3年目の活動が終了しました。本年度の主な活動を振り返りながらご紹介いたします。

授業補助に入る学習支援員の様子です。担当する児童の側について、教科によって授業全体をフォローします。例えば、理科は実験の準備・片付けのお手伝いもお願いしています。今年度は、4名が支援員として活動してくれました。学習支援員がいることで、落ち着いて学習に取り組める子どもが増え、授業がスムーズに進んでいます。担任の先生の負担も減っています。よりよい学習環境にするため、学習支援に関心のある学生が身近にいらしたら、ぜひ声をかけてお誘いください。

ゲストティーチャーの出前授業

November 11

3年生「多摩川探検学習」



↑ 山崎愛柚香先生



生き物や石を観察

6年生「原爆先生の特別授業」



原爆先生の特別授業

講師：原爆先生こと池田眞徳(まさのり)さん



静かな体育館、原爆先生が口笛で出す「ひゅーひゅー」という風の音で授業は始まりました。当時17歳の少年兵(主人公)の手記を元に、主人公が被爆直後のヒロシマ爆心地に足を踏み入れ、そこで遭遇した様々な出来事が語られていきます。(ノンフィクション物語)授業は、主人公の目線による客観的な事実の伝達に徹しているため、児童は主人公の目線で原爆の恐怖と惨状を知り、疑似体感します。まるで当時のヒロシマに引き込まれた感覚。でも、だからこそ、難しいテーマである原爆や戦争やいのちについて、真剣に考えることができるのです。

原爆や戦争は「答えがひとつのテーマ」ではなく、「人それぞれに答えがあるテーマ」です。この特別授業は、反戦や反核を唱えるものではなく、平和教育が目的でもありません。原爆・戦争について「児童たち自身が考える」という行為そのものが重要だと話されました。17歳の少年兵は、池田さんの父・義三(1927-2009)さんです。特別授業の原作である池田さんが書いた「7000°Cの少年」は、kindle(電子本)で読むことができます。

January 1

3年生「お囃子体験」 ※中止

「上石原囃子連」をお招きして、実演していただく予定でしたが蔓延防止のため残念ながら中止に。来年また依頼します。

February 2

5年生「水墨画体験」



水墨画家・岡田潤先生と野菜・果物を描きました。

教師のゲストティーチャー?!



6年生「オン&オフライン・キャリア教育」

今年も6年生にオンライン(Zoom)を活用したキャリア教育講演を行いました。初回は、いつもは担任の先生方3人をゲストティーチャーとしてお迎えする特別オフライン企画。「教師」という職業や人生について質問し、とても盛り上がりました！

【講師陣】

- ①教師・梅本先生・高瀬先生・平井先生
- ②イラストレーター ai sayama (佐山 愛さん)
- ③福島県双葉町議員 山根 辰洋さん

©ai sayama



— 学習支援員(登録)を募集しています — お知らせ

- ☑授業の補助に入って担任をサポート
- ☑つまづきや不安を抱える児童に寄り添う
- ☑教員を目指す大学生・三小の卒業生求む
- ☑謝礼あり、週1回・1日4時間～

ご応募はこちらまで →→
来年度も三小教育活動の支援を行っていきます。
よろしくお願いいたします。



三小地域学校協働本部
コーディネーター・塚松美穂

向いている人物像
先生になりたい
子どもが好き
教えるのが好き
三小に愛着がある
誰かの役に立ちたい